

## ウッド・チェンジ・ネットワーク 第4回会合 議事概要

開催日時： 令和3年3月19日（金）10:00～12:00

場 所： 中央合同庁舎4号館 1219～1221号室

概 要：

会員企業・団体より最近のウッド・チェンジの取組について、大橋好光東京都市大学名誉教授よりワーキング・グループ（低層小規模・中規模ビル・木質化）の取組について説明・話題提供後、意見交換を実施。主な意見は以下のとおり。

- 木材利用によりお金を山元に還元し、持続的な森林・林業が成り立つような企業活動を考えることが重要。
- 無垢の構造材を現しにすれば、木材の本当の効果が発揮できる。林業に大きなインパクトを与える無垢材の梁等への利用が重要。
- 木造がRC造やS造と同等の耐久性を持つことを示す道具として、企業においてエンジニアリングレポートをつくり、事業機会の損失に対応することが重要。
- 内装に木材を使うことで、事業にどのような好影響があったのかを数字で示していくことが重要であり、施主企業から多くの実例を集めPRすることが重要。
- 木造建築物をはじめ木材利用が脱炭素社会に貢献することについて、どのように表現できるかを考えていくことが重要。
- クリーンウッド法の取組が進むような環境づくりが重要。

今後の取組については、低層小規模、中規模ビル、木質化の各ワーキング・グループにおいて成果を取りまとめるとともに、これまでの成果を広く普及、活用していくことで一致。